

< 抜粋 >

# にっしんの表現指針

～性別に関わらず多様な視点で考えよう～

「ことば」と「イラスト」

当たり前と思っていた表現が

ちょっとおかしい！

## 【ことば編】

何気なく使っている言葉の中には、男性を中心としてきたこれまでの社会の仕組みや男女の役割分担意識が反映しているもの等が見受けられます。また昨今、性別も多様であることが認知されつつあります。大きく分けた次の1～6の分類を参考に、人々の多様なあり方を表現できるよう心がけましょう。

### 分類1 性別により職業・役割を限定する表現

長い歴史の中で、性別によって就ける職業、また就きにくい職業がありましたが、男女雇用機会均等法の改正により、性別に関わらず、様々な職種に就くことが可能になりました。例えば「保母」など、長年の習慣により、片方の性に限定する職業に関する言葉が根強く残っています。そのような言葉を使うことで、それを見聞きする子どもたちが、知らずしも職業選択や生き方の幅を自ら狭めてしまうことが考えられます。性別に関わらず職業を選択する自由があることを、私たち大人が子どもたちに示していきましょう。

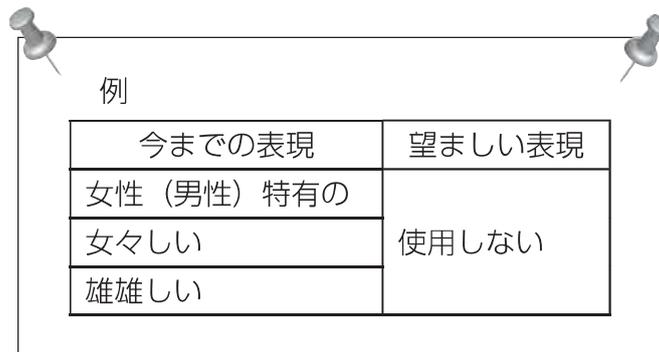
また、今まで性別による役割として考えられてきたのは、「男性は社会に出て仕事、女性は家庭で家事・育児・介護」というのが一般的です。現在では、性別に関わらず社会に出て、家庭では誰もが家事・育児・介護をする時代になりつつありますので、性別で役割が決められているかのような表現は慎みましょう。

例	
今までの表現	望ましい表現
保母	保育士
スチュワーデス	客室乗務員 キャビンアテンダント (CA) フライトアテンダント
主婦	女性・市民など状況により適切な表現に置き換える。

## 分類2 「らしさ」にとらわれた表現 ～性別によるイメージにとらわれた表現～

長年、女性は「弱い・小さい・優しい・従順」、男性は「強い・大きい・怖い・リーダー的」というイメージがありました。これは、社会的や文化的に形成された性別の特徴で「ジェンダー」といいます。例えば「男のくせに女々しい」など、性別によって思い込まれている特徴と異なる人に対しては「女性（男性）なのに〇〇だ」という差別や偏見の意味を含む言葉が使用されてきました。

今までの「女性（男性）らしさ」で表される様子は、性別に起因するものではなく、「個性」といえます。さらに性別も多様であることが認知されてきていますので、使用しないようにしましょう。



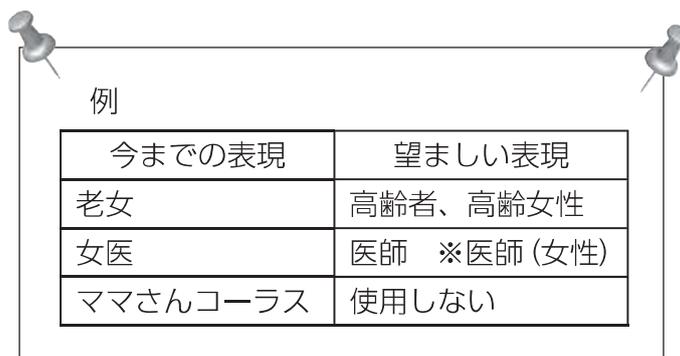
例

今までの表現	望ましい表現
女性（男性）特有の	使用しない
女々しい	
雄雄しい	

## 分類3 性別や年齢、容姿を強調する表現

長年、女性に対しては若さや容姿の良さが求められていたため、そのことだけに価値があるような表現がよく見受けられます。また、「男性は女性より優位」と考えられてきたため、例えば「女医」など、言葉の前にあえて「女」という字をつけることで「例外的、特殊」という意味を加えて表現されてきました。

また、「ある程度の年齢の女性には、子どもがいて当然だから、『ママさん』と呼んでもいい」という考え方など、個人の特性や考え方を無視するような表現が存在します。これらは男性目線で表現された言葉で、本来、性別に関わらず、個人の特性や技能が重視されるべきです。表現するには注意が必要です。



例

今までの表現	望ましい表現
老女	高齢者、高齢女性
女医	医師 ※医師(女性)
ママさんコーラス	使用しない

#### 分類4 人間全体を「男性」で表現 ～男性中心型社会を反映する表現～

これまで考えられてきた性別による役割は「男性は社会に出て仕事、女性は家庭で家事・育児・介護」というのが一般的です。そのため、社会で活躍する人を表現する場合には、「サラリーマン」など男性を意味する言葉が多く使用されています。また、家父長制に通じることですが、家の代表である男性を重んじる表現もまだ使用されています。

性別に関わらず誰もが平等に社会で活躍して、誰もが家事・育児・介護に携わる時代に変化しつつありますので、「男性」が強調して表現されるような表現は慎みましょう。

例

今までの表現	望ましい表現
サラリーマン	会社員
カメラマン	写真家、撮影スタッフ
父兄	保護者

#### 分類5 性別により呼び方を変える表現

長年、男性は女性よりも優れていると思われていたため、呼び方は女性よりも優位な表現が使われていました。もともと性別による優劣はありませんので、平等な呼び方にしましょう。

例

今までの表現	望ましい表現
女性は「さん」「ちゃん」 男性は「氏」「君」	性別で使い分けない 「さん」「氏」

## 分類6 家父長制度に基づく表現

昔は家族の単位を「家」で表現し、家の長は原則最年長の男性でした。男性は「家」の代表であり、また統率者であり、その他の家族は「家の構成員」として、家長の命令に従っていました。

そのため現在でも、女性には「男性（家）の従属的人物」という考え方が根強く残り、女性の自己肯定感を下げていると考えられます。また男性は「家の中心的人物であるべきで、自分独りで家族を養い、管理してこそ一人前だ」という考え方に縛られ、生き方の幅を狭めていると考えられます。

世帯の形態も単身世帯や核家族など多様化しています。家族はみな平等で、協力し合い生活していることが含まれる表現を使用しましょう。

例

今までの表現	望ましい表現
入籍（婚姻で使用する場合）	婚姻、結婚
人妻	既婚者
妻子を養う	家計を担う



<令和2年度日進市市民意識調査 調査票>

**1 あなた自身のことについておたずねします。**

問1 あなたの性別を教えてください。

- |      |      |         |
|------|------|---------|
| 1 女性 | 2 男性 | 3 1,2以外 |
|------|------|---------|

問2 あなたの年齢を教えてください。

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| 1 18～24歳 | 5 40～44歳 | 9 60～64歳  |
| 2 25～29歳 | 6 45～49歳 | 10 65～69歳 |
| 3 30～34歳 | 7 50～54歳 | 11 70～74歳 |
| 4 35～39歳 | 8 55～59歳 | 12 75歳以上  |

問3 あなたの職業を教えてください。

- |                    |
|--------------------|
| 1 会社員（常勤）          |
| 2 公務員・教職員（常勤）      |
| 3 パートタイマー・アルバイト・内職 |
| 4 自営業・自由業          |
| 5 農林業              |
| 6 学生               |
| 7 専業主婦・主夫          |
| 8 無職               |
| 9 その他              |

⇒ 問3-2へお進みください

⇒ 問4へお進みください

<問3-2> 問3で「1」～「6」と回答された方にお聞きします。あなたの通勤（就業）先、通学先はどちらですか。

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1 自宅        | 6 長久手市           |
| 2 自宅以外の日進市内 | 7 豊田市            |
| 3 名古屋市      | 8 1～7以外の愛知県内     |
| 4 東郷町       | 9 愛知県外           |
| 5 みよし市      | ( _____ 都・道・府・県) |

問4 あなたが現在お住まいになっている住宅の種類を教えてください。

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1 一戸建持ち家  | 4 賃貸マンション・アパート |
| 2 一戸建借家   | 5 社宅・寮         |
| 3 分譲マンション | 6 その他          |

第1章 回答者のプロフィール

(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。

◆「女性」と回答した人は57.3%、「男性」と回答した人は42.1%となっています。

【回答者の「性別」の傾向】

○前回の調査と比べて、「女性」と回答した人は減少しており、「男性」と回答した人は増加しています。

図1-1-1 「性別」(これまでの調査との比較)

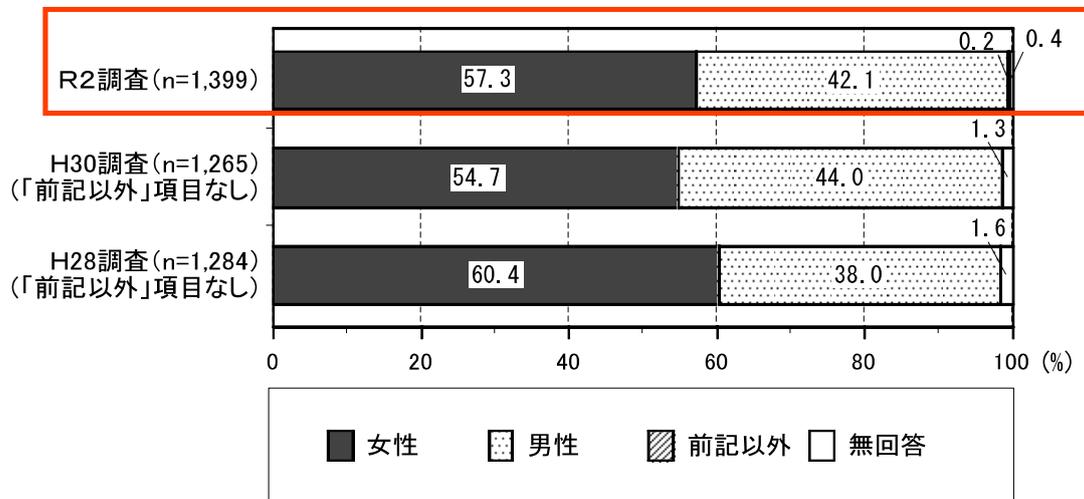


表1-1-2 (参考) 日進市の住民基本台帳上の性別割合 (満18歳以上)

	女性	男性	全体
人口 (人)	37,297	36,540	73,837
割合 (%)	50.5	49.5	100.0

(令和2年4月1日現在 住民基本台帳)